

子育てのワンポイント

自己肯定感を育てる ほめ方とほめ言葉



子どもは誰でも、ほめられるとうれしくなります。自分のしたことをほかの人が認めてくれた、と感じ、ほめられたことでその人を信頼するようになります。もう少し大きくなると、ほめられることで、何をすれば人が喜んでくれるかわかるようになります、自己肯定感が育っていきます。

ただし、ただほめればいいだけではありません。何でもほめすぎると、他人からの評価に敏感になってしまいます。また、ほめさえすれば育つと思うのは間違いです。「すごいね」「えらいね」「格好いいね」という画一化したほめ言葉では、どこがいいのか、何がいいのか、子どもには伝わりません。人格をほめるのではなく、まずはその子らしさを認めて、その子の育ちをほめましょう。例えば絵を描いていたなら、「上手ね」ではなく、「グルグルがとっても元気に描けているね」「いろいろな色を使って楽しそうだね」などと認めてほめるといいですね。3歳以下の年齢が小さいころは、言葉だけではなく、手を握ったり、抱きしめたりとスキンシップをとることで、子どもは安心感を得られます。

また、ほかの子と比較してほめるのはNG。それでは優越感しか育ちません。「おりこうさんね」など、大人の評価を与えるほめ方もあまりよくありません。それよりも、「お手伝いしてくれてうれしいよ」「ひとりで着替えができたね」など、大人の気持ちを伝えましょう。

「0歳児から5歳児 行動の意味とその対応」 今井和子著

今月の絵本

おつきさま なにみてる

なかじま かおり／作・絵 岩崎書店

まじょまつりにいこう

せな けいこ／作・絵 ポプラ社



今月のわらべうた

おつきさま えらいの
かがみのようになったり
くしのようになったり
はる なつ あき ふゆ
にほんじゅうを てらす

今月のうた

<まつぼっくり>
まつぼっくりがあったとさ
たかいおやまにあったとさ
ころころ ころころ
あったとさ
おさるがひろって
たべたとさ

10月の予定

1日(金) 子育て学習会
「絵本について」
14日(木) ミニ運動会
22日(金) 園庭開放

